



学校ホームページ

令和2年度 第7号

令和2年 7月6日

笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

「やぶねり」祭りの心意気

例年であれば、6月27日（土）は、土曜教育活動として6年生がやぶねり体験をすることになっていましたが、今年は、コロナ感染防止のため、この時期を見合わせました。白塚自治会の皆様も、「やぶねり」としての祭りは中止と決め、八雲神社での神事だけを行うこととなりました。本当に残念なことです。本来であれば、7月10日（金）が宵の宮、11日（土）が祭りとなり、土曜日ということもあって子どもたちもたくさん集まって楽しんでいただこうでしょう。

伝統の白塚「やぶねり」は、大きな災難や禍を乗り越える力強い生き方を子どもたちに教えてくれています。このコロナ禍で、体験や学びができませんでしたが、ここに、その意義もこめて、「やぶねり」についてまとめてみたいと思います。

やぶねりって何？

やぶねり神事 津市無形民俗文化財に指定

（平成20年12月5日指定）

白塚町に伝わる「やぶねり」は、地元八雲神社の祭礼として、7月10・11日に行われます。やぶねり神事は八雲神社の東側の集落の若者たちによって、昔から行われてきました。その起源は、記録がないため正確なところはわかりませんが、おそらく江戸時代ごろ（350年ほど前）には行われていたのではないかと思います。八雲神社の神様は、「スサノオノミコト」が祀られています。「スサノオノミコト」は、「ヤマタノオロチ」を退治した神様として有名です。



「やぶねり」は、青竹を縄で縛って「やぶ」を作り、その「やぶ」を練りまわすので「やぶねり」と言われます。「やぶ」は、神話に出てくるヤマタノオロチに見立てているといわれ、その中には津島神社（愛知県）のお札とオロチの八つの口にみだた百合の花のつぼみ八本が入っています。青竹で作ったやぶがヤマタノオロチとなって白塚の街の中を暴れまわります。「エンヤナツチャ」の掛け声とともに、若者たちがやぶを練りまわし、病気やわざわいを「やぶ」に封じ込め、そのやぶをスサノオノミコトが退治することで、白塚の村が無病息災になるといわれています。退治されたヤマタノオロチは頭を北の方向に向けられ、「イーカリヤ、イーカリヤ」の掛け声とともに海に流され、津島神社まで戻っていくのだといわれています。



どうしてやぶねりをするの？

昔の白塚町は、漁業や農業を行い、生活に必要なものはぶつぶつ交換をしていた。大雨や台風などで飲み物が汚染され、病気や伝染病が広がっても、医者に診てもらってもできない貧しいところだった。昔の人は、そんな病気や災いを追い払うことと、豊漁・豊作を願って祭りを考えた。貧しかったので、身近にある竹を利用して「やぶ」を作り、神の力をお迎えする「神迎え」の古い信仰として代々受け継がれてきました。

どんなお祭りのの？

昨年度6年生が体験学習で作成した「やぶねり」



7月10日を「宵の宮」11日を「やぶねり」と呼び、この両日を「ジンジ」と呼んでいる。10日は、各地区の青年団により毎年同じ場所に幟が立てられます。幟を立てる意味は、神様にここで祭りをするので多くの福をください。魔物を退治してくださいとの願いを神様に伝えること。幟の梵天を目印にして神様が天から降りてこられるようにとの思いが込められているとされています。白塚小学校の運動場にもものぼりが立ちます。

10日は、行燈・屋台提灯も飾られ、祭りの雰囲気をつくります。夕方になると、神社周辺の道路沿いに露店が並び、町民は夕食をすませた後、宮参りをし、祭りの安全などを祈念して帰宅します。11日は、早朝より青年団が青竹を大里方面に買い出しに行き、八雲神社で「やぶ」を作ります。「やぶ」は20人くらいで編みながら束ねて縛り、長さ18メートル太さ4センチ程度の頑丈なものになります。大蛇に似せた形となります。各地区2体合計6体つくります。

11日夜7時半ごろから三地区(山舗・中本町・旭町)30分の時間差を設けて「やぶねり」が始まります。「ヨイヨイヨイ」の掛け声とともに、先導提灯を持った青年が「デテカリヤ」(やぶの中のスサノオノミコトが神としての力を発揮して出ていきます)と唱えて通りへ出ていきます。「エーヤナッチャ」の掛け声で民家の通り道を練りまわり病気や災いを「やぶ」に封じ込めていきます。激しく練ることで、災いや病気を多く封じ込めることができるといわれています。「やぶ」を担ぎ、海へ運ぶ際には、「イーカリヤ、イーカリヤ、ゴンゲンサンノイーカリヤ」(「やぶ」の中の神様スサノオノミコトが津島神社へ帰ります)と掛け声をあげ、「やぶ」の頭部を北向きにして「ヨイヨイヨイ」と海に流し、「やぶねり」が終了します。

新型コロナウイルスで世界中が苦しんでいます。いまこそ力を合わせて人類が乗り越えていかなければなりません。一人ひとりができることを、しっかり取り組んでいきたいです。

【ご寄付いただきました】

白塚地区社会福祉協議会さんよりコロナ感染防止と熱中症対策として、足踏み式アルコール消毒液スタンド「アルシュッシュ」と保健室に経口保水液を寄付していただきました。ありがとうございました。

